

井手やまぶき相談・支援センターだより

井手やまぶき相談・支援センター

京都市立井手やまぶき支援学校 令和6年1月号



冬の研修会を実施しました



12月22日（金）、四條畷学園大学講師で作業療法士の宮嶋愛弓先生による「作業療法士による個別セッション&相談会 in Ideyama buki」と題して、作業療法の観点から子どもの興味・関心に合わせたアプローチと支援について教えていただきました。

今回の研修は、就学前の子どもさん、保護者の方々、関係機関の先生、職員の方々に参加していただくことができました。

前半は、宮嶋先生より作業療法の観点からの支援方法のアドバイスの研修会、後半は個別セッションを通して子どもさん達とのコミュニケーションの取り方、姿勢や体の使い方へのアプローチの仕方等を具体的に教えていただきました。また、子どもが楽しく自分から取り組むことができる教材や様々な自助具をたくさん紹介していただきました。



ピンチもいろいろな大きさを試してみる



たくさんの自助箸

参加者の皆様からは、「作業療法を受けている子ども達の保護者の方々から話を伺う事はあっても、実際に見たことが初めてだったので、とても有意義だった。」「いろいろな道具をうまく使う、環境を工夫することを勉強できた。代用できる物を取り入れ、模索していくことが大切だと感じた。」等の感想をいただきました。

宮嶋先生にたくさんの学びと励ましをいただいた研修会となりました。



御参加いただきました皆様、ありがとうございました。

子ども達が意欲的に取り組むことができるように工夫された教材に、参加者の皆様も、興味津々でした。

